

# 取り付け

## 取り付け場所

- こんな取り付け場所はお避けください。
- 運転の妨げになる所
  - 同乗者の安全を損なう所
  - グローブボックスのふたの開閉や、灰皿の出し入れの妨げになる所

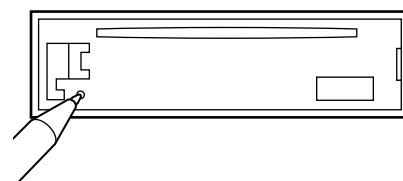
- ほこりの多い所
- 磁気を帯びた所
- 直射日光やヒーターの熱風などが当たる所
- 雨が吹き込んだり、水がかかる所、湿気の多い所

## 取り付け角度

水平から60度以内で取り付けてください。

## 取り付けと接続が終わったら

- ブレーキランプやライト、ホーン、ウインカー、ワイパーなど、すべての電装品が正しく動くことをお確かめください。
- 必ず、フロントパネルをはずした本体側の左下にあるリセットボタンをボールペンの先などで押してください。  
針のようなもので強く押すと故障の原因となります。

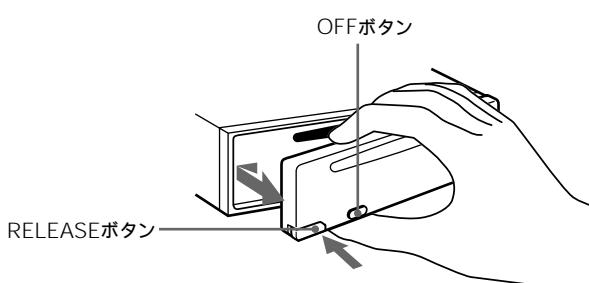


## フロントパネルについて

本機のフロントパネルは取りはずすことができます。必ずフロントパネルを取りはずしてから、本機を取り付けてください。

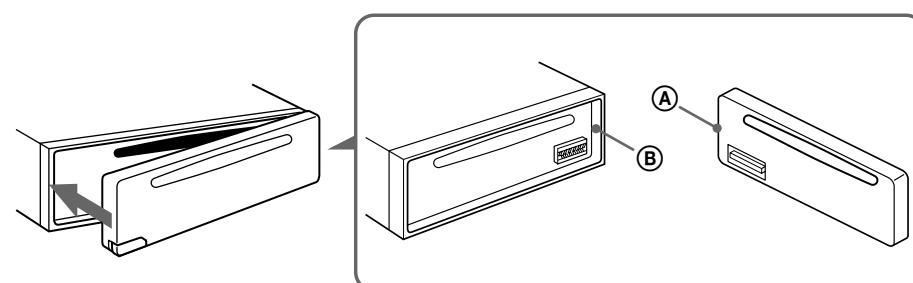
### 取りはずし

必ず、OFFボタンを押して本機の電源を切ってから、RELEASEボタンを押してフロントパネルを左にずらし、手前に引いて取りはずしてください。



### 取り付け

フロントパネルのⒶ部分と本機のⒷ部分を合わせてロックされるまで押し込んでください。



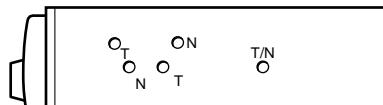
## センターコンソールやインダッシュに取り付ける場合

トヨタ車、日産車、三菱車のほとんどは純正カーオーディオをはずして、そのあとに本機を取り付けられます。取り付け可能車はお買い上げ店にお問い合わせください。

お車が上記以外のときは、別売りの取り付けキットが必要です。お買い上げ店にご相談ください。

### ご注意

純正ブラケットを本機に取り付けるとき、本機側面に刻印されているT(トヨタ車/三菱車用) N(日産車用)マークにブラケットの取り付けネジ穴を合わせて、付属のネジ①または②で取り付けてください。



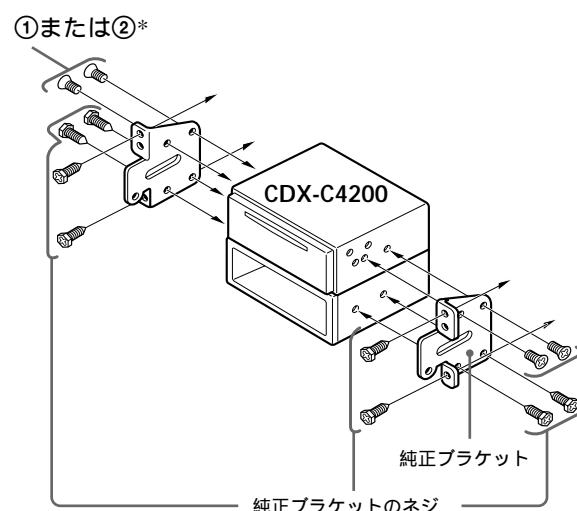
### 1 純正カーオーディオを取りはずします。

センターコンソールやインダッシュから純正オーディオを取りはずし、カーオーディオを取り付けていた純正ブラケットを利用して、本機を取り付けます。

### 2 本機を取り付けます。

接続例を参照して、センターコンソールやインダッシュに取り付けてください。

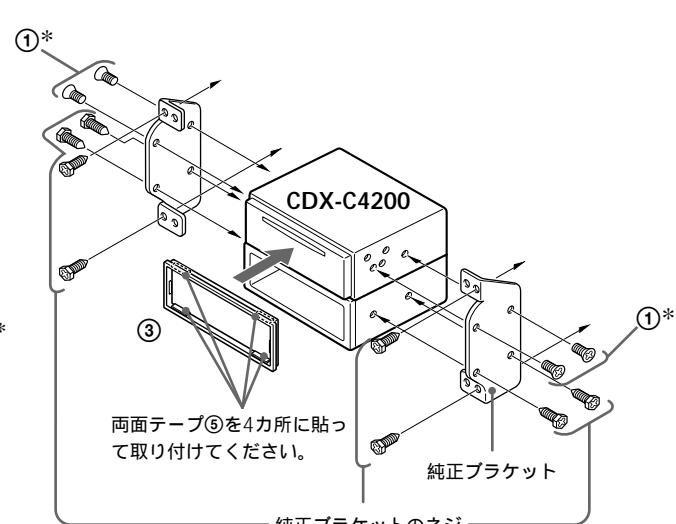
トヨタ車/三菱車の場合(イラストはトヨタ車の場合)  
ⒶとⒷのネジは取り付ける車両により使い分けてご使用ください。  
三菱車に本機を取り付ける場合はⒷのネジをご使用ください。



### ご注意

- 本機のフロントパネルの表示窓を押したり、ボタンに強い力を加えたりしないでください。
- 本機の上部に物をはさみ込まないでください。

### 日産車の場合



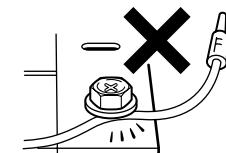
\*付属の皿ネジⒶまたはトラスネジⒷで取り付けてください。他のネジを使用すると故障の原因になります。

## ご注意

- 本機上面にある周波数調整用の4個の穴の調整ネジにはさわらないでください。故障の原因になります。
- リセットボタンを押した後、10秒間はCDを入れないでください。10秒以内にCDを入れるとリセットされません。もし入れたときはもう一度リセットし直してください。

## ビス・ナット類

- 必ず付属のビス類をお使いください。
- ビスやナットを締めるとき、他の配線を噛みこまないようにご注意ください。
- 車体のボルトやナットを使って共締めやアースをするとき、ハンドルやブレーキ系統のものは絶対に使わないでください。
- はずしたビス類は、小箱や袋に入れて紛失しないようにしてください。
- はずすビスの種類が多いときは、混同しないようにしてください。





# 接続 必ず接続先の機器に付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

## ショート事故を防ぐために

本機の電源コードの接続は、必ずイグニッションキーをOFFにして、すべての配線をすませてから行ってください。先に電源コードを接続すると、ショートにより感電や製品の故障の原因となります。万一、先に電源コードを接続して配線しなければならないときは、はじめにバッテリーのマイナス端子をはずしてください。

ただし、ドライブコンピューターやナビゲーションコンピューターが取り付けてある車では、バッテリーのマイナス端子をはずすとメモリー内容がすべて消えてしまうことがあります。

## 純正アンテナブースターの接続

車種(一部のバーアンテナ車種を含む)によっては、純正アンテナブースターに電源を供給する必要があります。この場合は青色のコードを純正アンテナブースターにつなぐか、アクセサリー電源から電源を取るようにしてください。くわしくは、お買い上げ店にご相談ください。

## パワーアンテナをお使いになる場合

本機裏面から出ている青色のコードをパワーアンテナ(リレーボックス付き)に接続してお使いになると、ラジオの電源を入れたときにパワーアンテナが自動的に出ます。

## 大出力パワーアンプをお使いになる場合

より良い音で楽しんでいただくために、以下の調整をしてください。

ソニーのパワーアンプをお使いのとき

LEVEL(またはGAIN)の調整つまみをMIN側にしてください。

他社のパワーアンプをお使いのとき

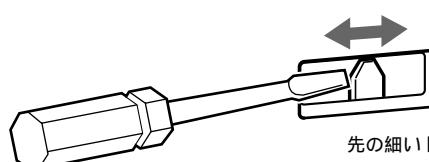
マスターユニットのボリュームを、真ん中より少し上ぐらにした時に適度な音量になるように、パワーアンプのLEVEL(またはGAIN)を下げてお使いください。

## 初期設定が必要なスイッチ

イグニッションキーにアクセサリーポジションのない車でお使いになる場合

パワーセレクトスイッチ

必ず本機底面にあるパワーセレクトスイッチを①の位置に合わせてください。この場合、赤色の電源コードは黄色コードと同じところ(バッテリー電源)へ接続してください。パワーセレクトスイッチが②の位置のままお使いになると電源が切れずバッテリーが消耗します。



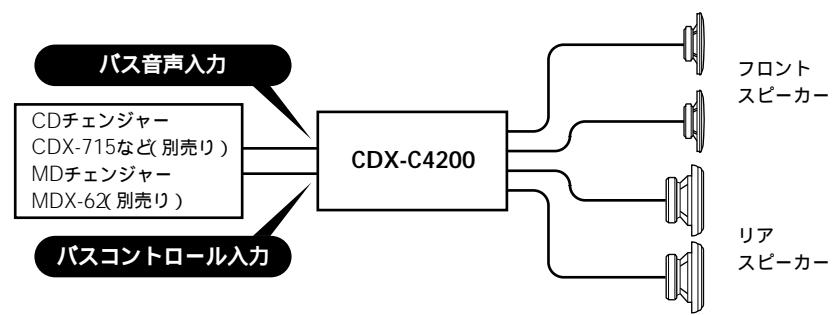
先の細いドライバーなどを使って切り換えてください。  
強く押さないようにご注意ください。

スイッチの位置を変えたときは、電源の接続をしたあとに必ずリセットボタンを押してください。

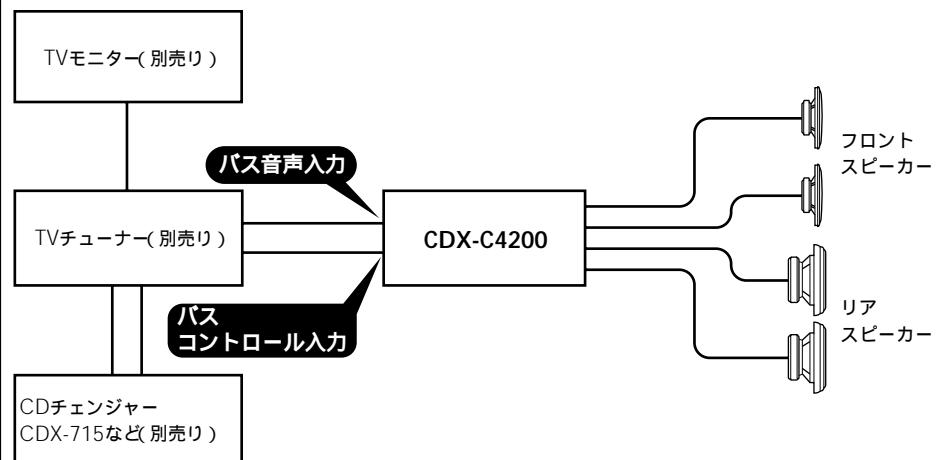
## システム接続例

2台以上のチェンジャーを接続する場合、別売りのソースセレクターXA-C30が必要です。

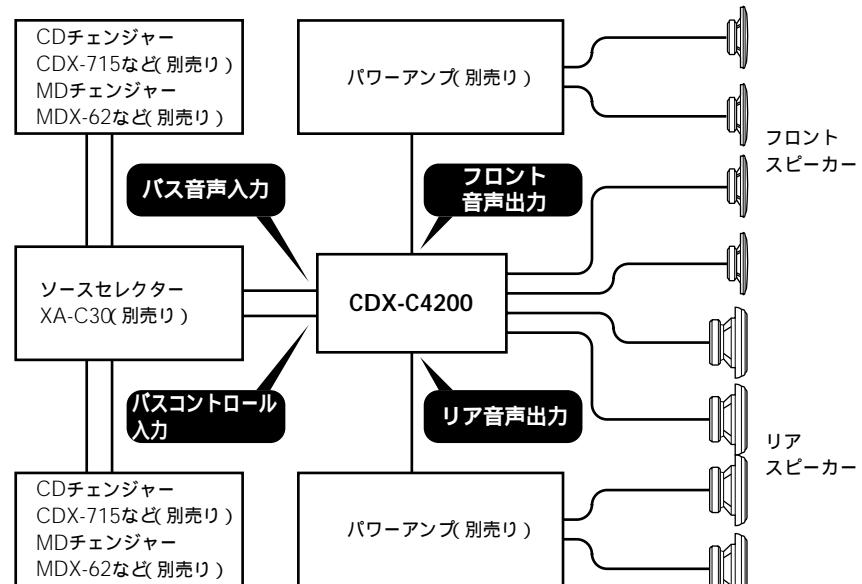
接続例1



接続例2



接続例3



## 電源コードの色分け

赤色コード

アクセサリー(ACC)電源入力コード

車のキーをLOCKかOFFにすると電源供給が切れて、ACCにすると電源が入るところ(ラジオ回路など)に接続します。

黄色コード

動作用電源入力コード

車のキーに関係なく、常時通電しているところでヒューズの容量値以上の電源が取れるところに接続します。本機のOFFボタンを押すか、イグニッションキーをOFFにすると、メモリー保持用の電流だけが流れます。

黒色コード

アース用コード

車体の金属部分に確実にアースしてください。

青色コード

パワーアンテナのコントロール出力コード

ラジオのスイッチを入れたときに、このコードから12ボルトのコントロール用電源を供給します。くわしくはお手持ちのパワーアンテナの説明書をご覧ください。

・純正アンテナブースターアンプの電源供給出力コード

### ご注意

リレーボックスの付いていないパワーアンテナは使用できません。

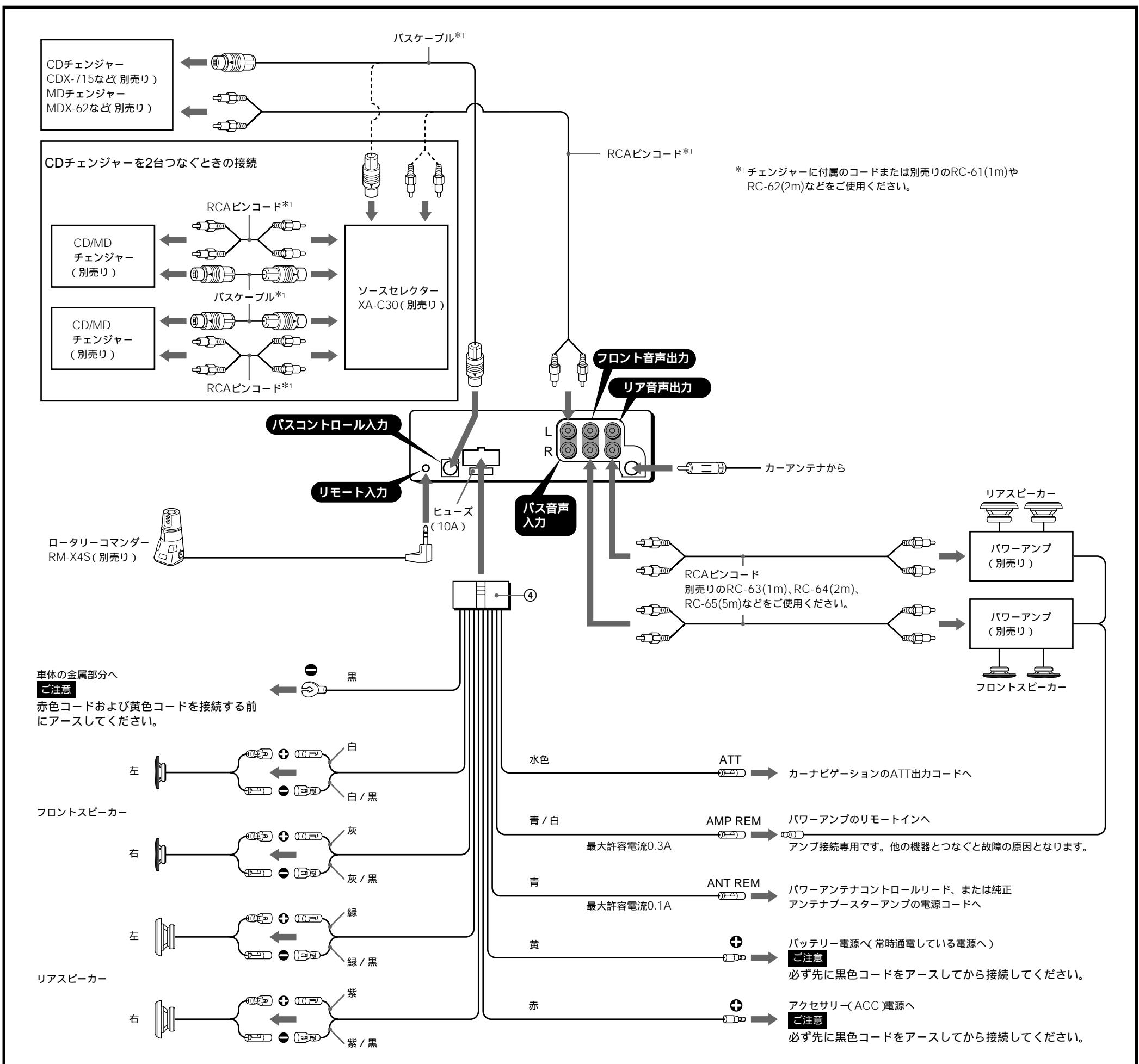
青 / 白線コード

パワーアンプのコントロール出力コード

水色コード

ATT入力コード

カーナビゲーションシステムのATT出力コードに接続します。



## ヒューズ

- 本体の後面にあるヒューズが切れたときは、配線などをチェックして必ず原因を確かめ、適切な処置をしてください。その後、ヒューズに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズと交換してください。規定容量以上のヒューズや針金で代用することは大変危険です。
- 電源の黄色コードを接続するときは、本機のヒューズ容量が車両側(純正ラジオ用バックアップ電源)のヒューズ容量以下であることを確認してください。また、アンプなどを接続したシステムで使用する場合は、総ヒューズ容量が車両側のヒューズ容量以下であることを確認してください。もし車両側の容量が小さい場合はバッテリーから直接電源を引いてください。このことを確認しないと異常が生じた時、車両のヒューズが先に切れ他の機器が機能しなくなります。

## スピーカー

- スピーカーを接続する前に、必ず本機の電源をOFFにしてください。
- インピーダンス4~8Ωのスピーカーをお使いください。
- 十分な許容入力を持つスピーカーをお使いください。許容入力の小さいスピーカーを使って音量を上げるとスピーカーを破損することがあります。
- スピーカーの④、①端子を車のシャーシなどに接続しないでください。故障の原因になることがあります。
- 本機のスピーカーコードどうしを接続しないでください。特に④端子どうし、①端子どうしを接続すると故障の原因になります。
- 既設の純正スピーカーコードを使う場合、左右のスピーカーコードの①側が共通になっているものは使用できません。そのまま使うと故障の原因になります。
- 本機のスピーカー出力にアクティブスピーカー(アンプ内蔵スピーカー)を接続すると本機を破損するおそれがあります。アクティブスピーカーを使用の際には接続にご注意ください。